

令和5年度まちなか活性化セミナー(2023.11.9)

八戸市中心市街地活性化の取組

八戸市 商工労働まちづくり部 まちづくり推進課

次長兼課長 工藤 俊憲

本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

八戸市の紹介 ～八戸はこんなまち～

①青森県で2番目の人口(青森市>八戸市>弘前市)

人口:約22.3万人(R2国勢調査)

②全国有数の水産都市(だった)

水揚げ数量:2.8万トン(R4全国14位)

水揚げ金額:99億円(R4全国15位)

③北東北最大級の工業都市(製紙・製鉄・飼料など)

製造品出荷額等:5,232億円(R3)

④東北有数の港湾物流都市

八戸港コンテナ取扱量:51,472TEU(R4)



八戸市の紹介① ～三陸復興国立公園 種差海岸～



種差海岸天然芝生地

種差海岸は三陸復興国立公園の北の玄関口として、変化に富んだ地形と多彩な植生を誇る

2013年5月に三陸復興国立公園に指定



2023年5月 国立公園指定から10年



東北太平洋岸自然歩道
「みちのく潮風トレイル」



トレイルの
ヘッドエンドポイント
となる「蕪島」



八戸市蕪島から福島県相馬市
まで1,000kmを超える長距離
自然歩道

1,025km

八戸市の紹介② ～伝統文化であり、観光資源でもある「祭り」～



【八戸三社大祭】

7月31日～8月4日

国重要無形民俗文化財

ユネスコ無形文化遺産

【八戸えんぶり】

2月17日～20日

国重要無形民俗文化財



八戸市の紹介③ ～日本最大級の朝市・横丁文化・是川縄文石器時代遺跡～

日本最大級の朝市
「館鼻岸壁朝市」

毎週日曜日の早朝にだけ出現する、
何でもありのカオスな巨大朝市！



昭和薫る「横丁文化」



中心街に張り巡らされた8つの横丁。
美酒と人情に酔いしれ、はしご酒！

史跡「是川石器時代遺跡」
世界遺産登録決定！

史跡是川石器時代遺跡を含む
「北海道・北東北の縄文遺跡群」
が2021年に世界遺産登録！



八戸市の紹介④ ～多様で自主的な市民による文化活動～



新人演奏
会



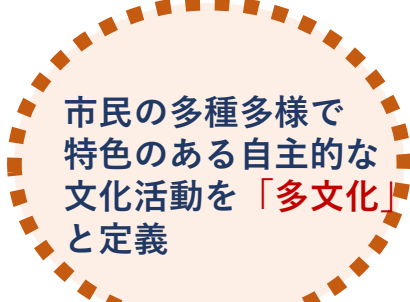
茶道体験



八戸えんぶり



八戸市民フィル演奏会



法霊（ほうりょう）神楽



八戸東高校表現科公演



華道体験



書道展

八戸市文化のまちづくりビジョン (平成27年度策定)

基本方針

- 1 生活に文化芸術が溶け込む環境づくり
- 2 文化芸術が開く八戸の未来
- 3 文化芸術の創造性を活かしたまちづくり

⇒まちづくりの視点で取り組む
アートプロジェクトを位置付け

はちのへ文化のまちづくりプラン ～八戸市文化芸術推進基本計画～ (令和4年度策定)

基本理念

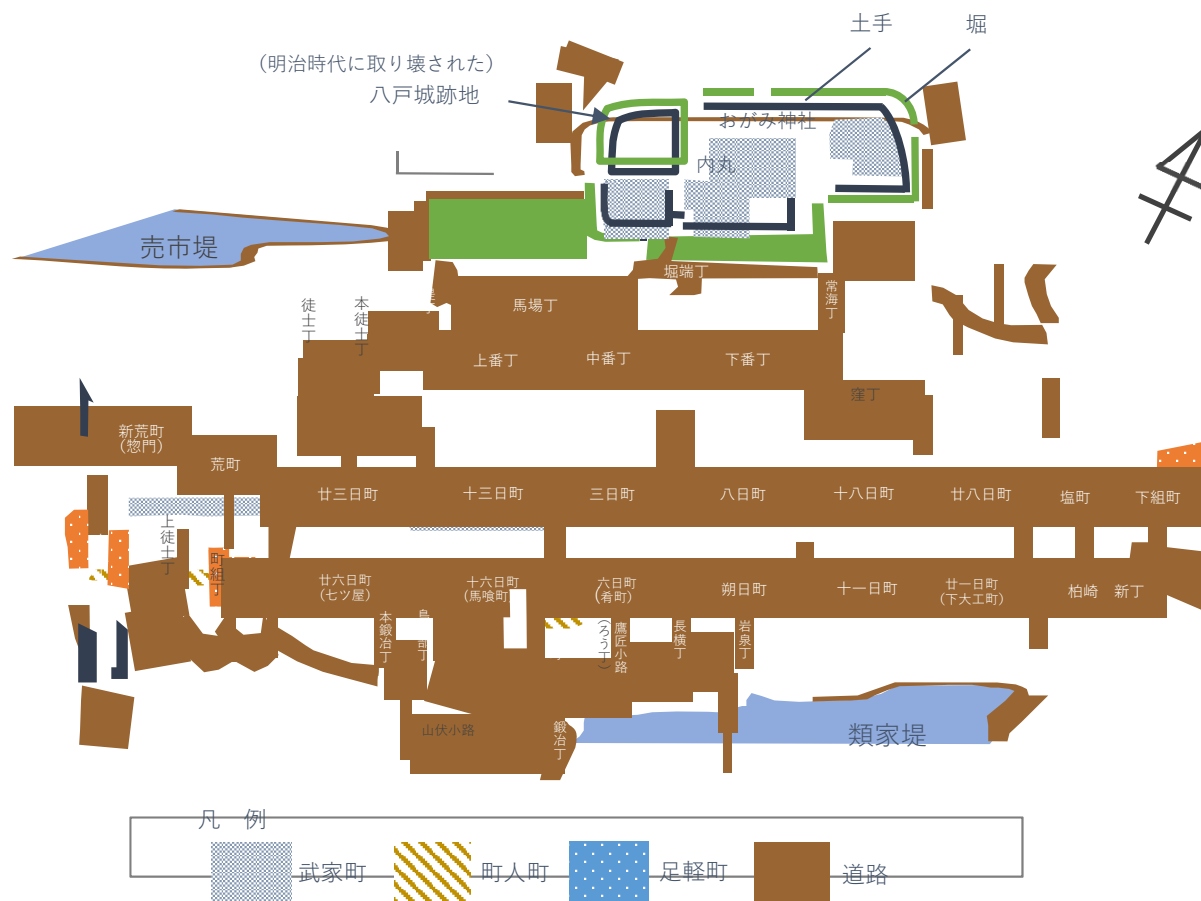
「文化芸術を通して市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、文化芸術の力を活用した魅力あふれるまち、八戸の実現」

本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

江戸市中心市街地＝江戸時代の城下町

江戸市中心市街地は、当時の建造物はほとんど残っていないが、**江戸時代の町の区割り、道や町名がそのまま残されている。**



寛永7年
(1630年)

寛文4年
(1664年)

江戸の
街づくり開始 → ほぼ
完成

江戸の城下町の豆知識

その1

町名に「日付」が入っているが、町割が行われた時、町の商業振興と繁栄を祈願して、市日になぞらえた。

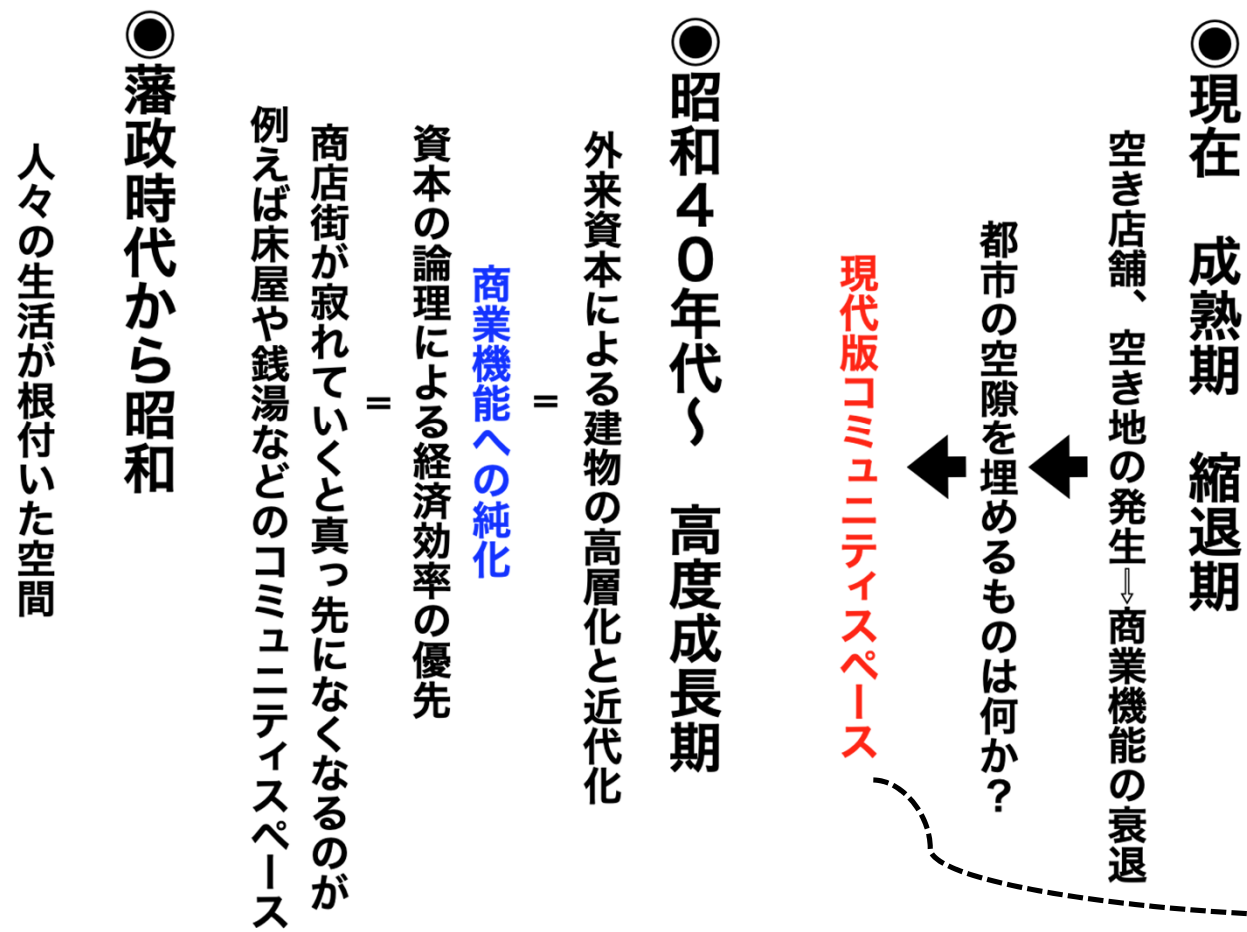
その2

本通りを挟んで表通りと裏通りの数字を足すと、一の位が縁起の良い「九」となるように配置。

その3

表通りには御用商人などの大店、裏通りには職人が集められた。職種によって住み分けられる計画の名残で、今でも大工町や肴町、馬喰町など地名にその特徴が残っている。

中心市街地の歴史的変遷



平成19年閉店の商業施設



現在の同じ場所／マチニワの様子

八戸市中心市街地の課題① ～まちに人がこない～

- ・昭和30年代後半から50年代までの間、商業施設の中層化
- ・平成2年以降、大型ショッピングセンターの郊外化
- ・商業機能の空洞化
- ・歩行者通行量の減少



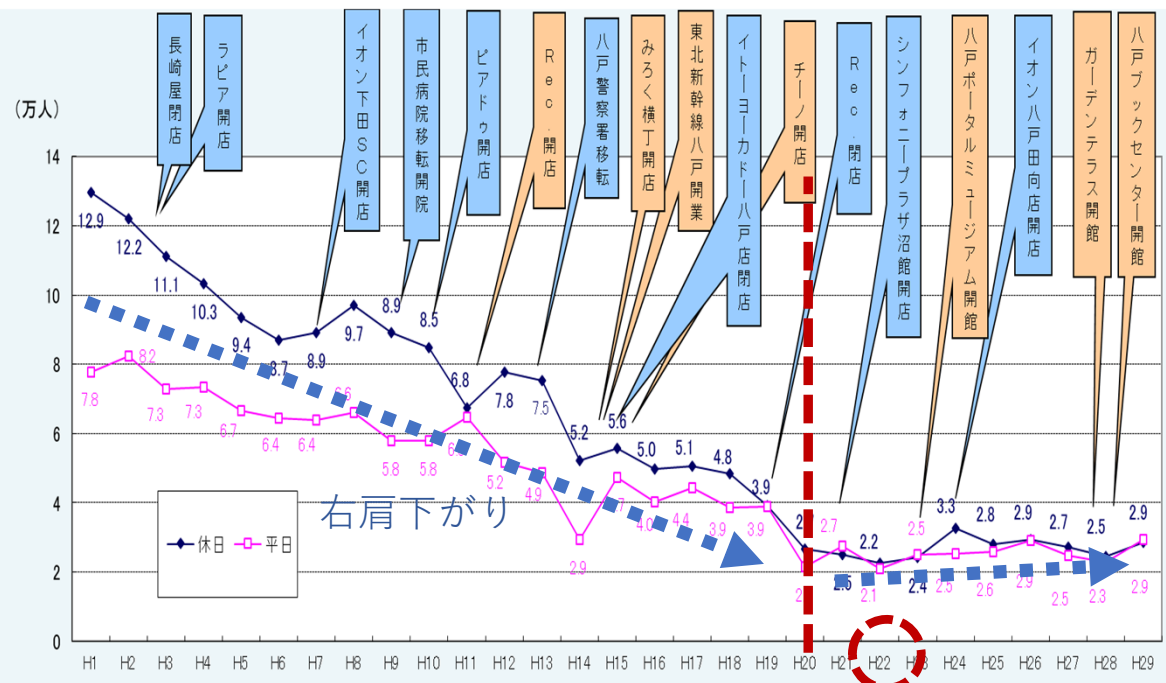
中心市街地活性化基本計画策定 (1期2008～2期2013～3期2018～)



平成2年 閉店！



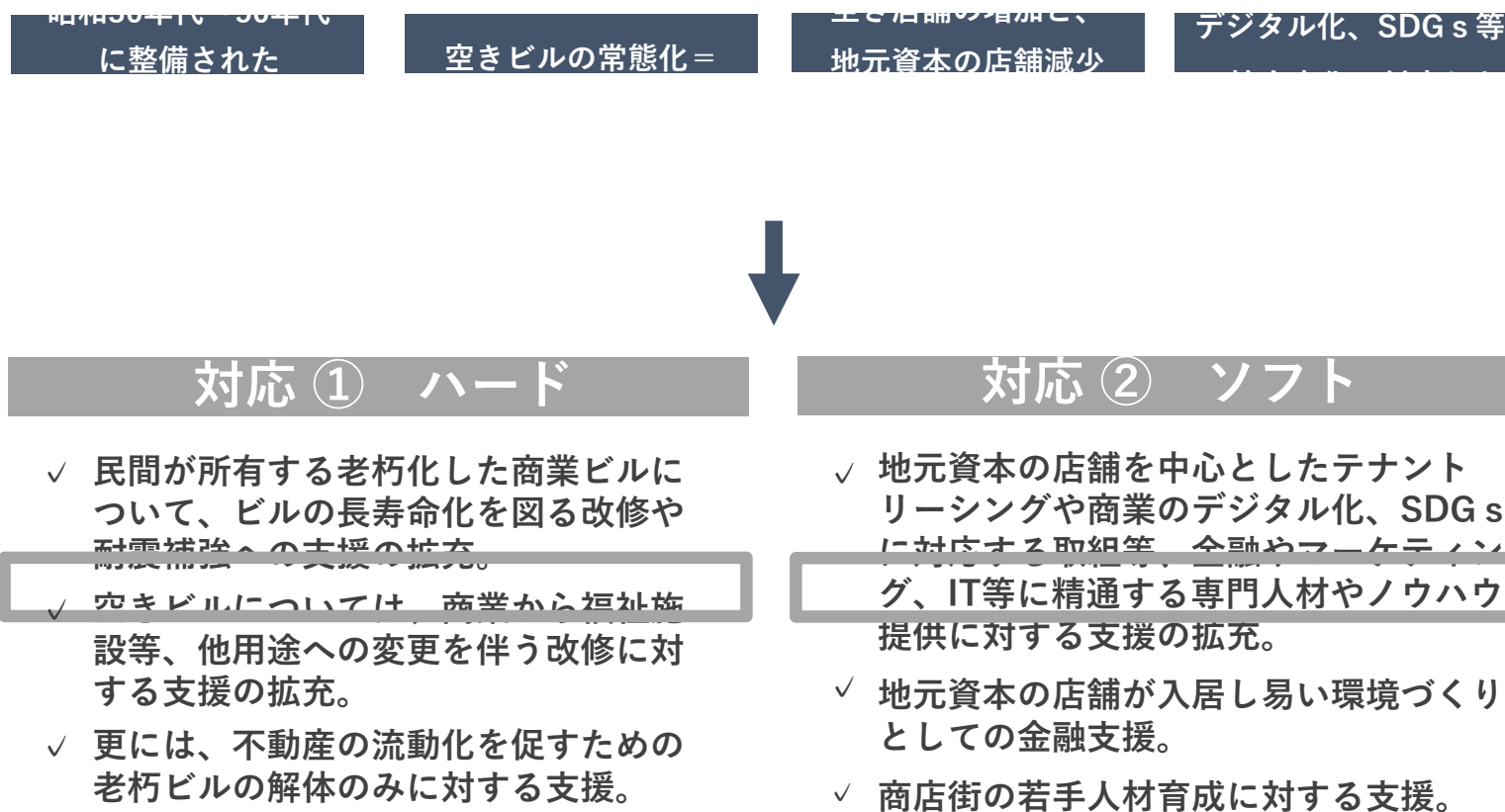
平成15年 閉店！



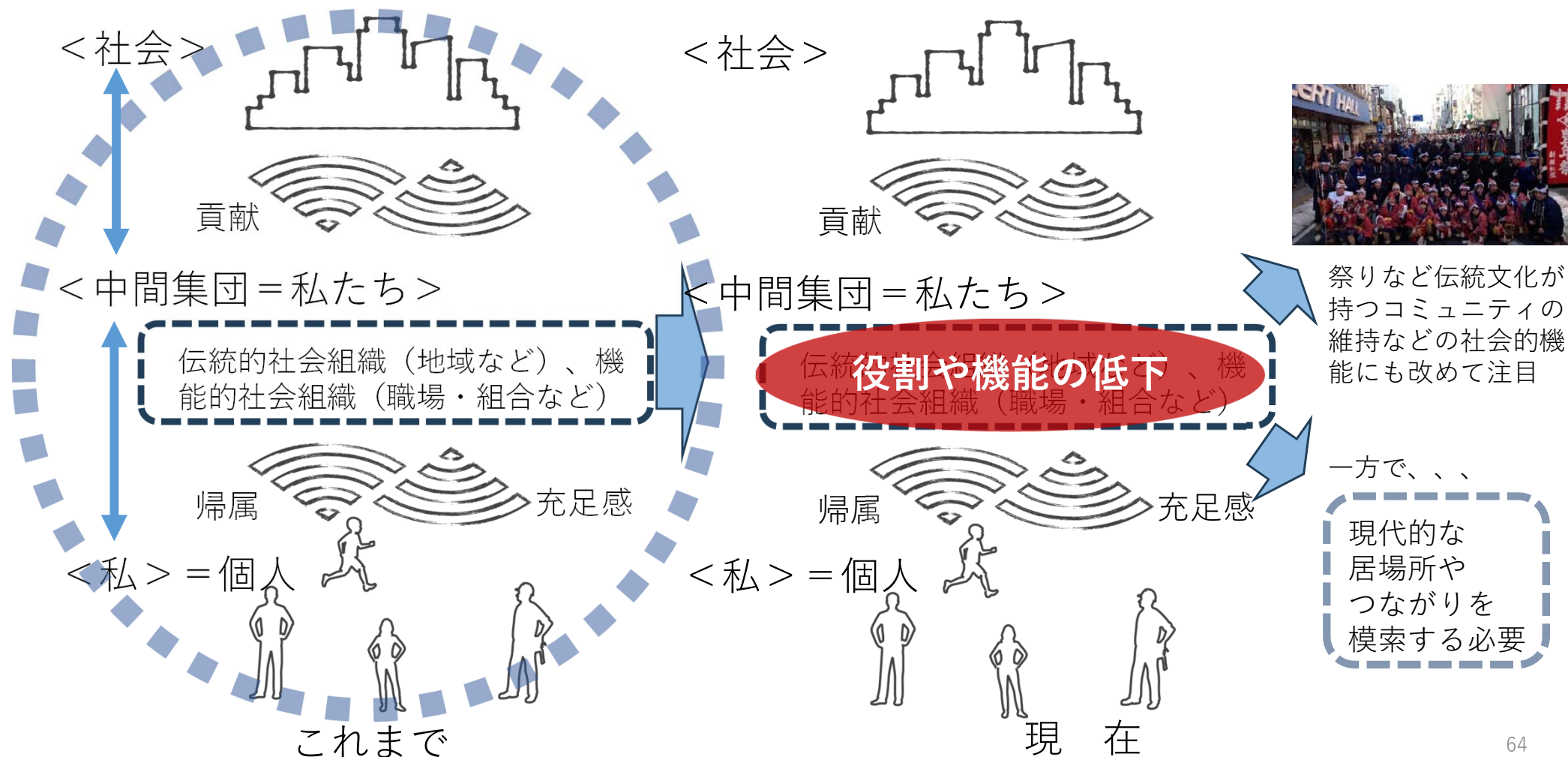
歩行者通行量の推移(H1～H29)

中心市街地の歩行者通行量は、平成に入って大幅に減少し、賑わいを失いつつある。特に日曜日の落ち込みが激しく、**20年間で1/3に！**

八戸市中心市街地の課題② ～転換を求められる商業機能～



八戸市中心市街地の課題③ ～多様なコミュニティ(つながり)の必要性～



本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

15分で歩ける範囲に文化・スポーツなどの多様な施設が集積しつつある

中心市街地面積：137ha
中心市街地人口：4,455人（R4.9.30現在）



【長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)】
国際大会が可能な国内3か所目のスピードスケートの拠点施設。



【八戸ポータルミュージアム(はっち)】
複合交流施設で通年でイベントを開催する。



【八戸市美術館】
美術作品の収集や展示に留まらないエデュケーション機能を組み込んだ施設。
※隣接する金融機関と協調開発し、新店舗も併せて整備。



【八日町地区複合ビル(DEVELD 八日町)】
商業・居住機能を有する施設。



【八戸まちなか広場(マチナカ)】
朝6時から夜11時まで自由に過ごせる施設。



【八戸ブックセンター】
本に関する新たな公共サービスを提供し本のまち八戸を推進する拠点施設。
※民間再開発ビル「ガーデンテラス」1階に入居

- ▶半径200m界隈に施設が集積
- ▶各施設の事業を通じた多彩な人材の交流
- ▶周辺にはITテレマーケティング関連産業のオフィス、夜の飲食店が集まる構図があり多彩な人材が交流

- 中心市街地界域
- 現在営業中の百貨店
- 昨年閉店した再開発予定の地元資本の商業施設
- 昨年4月に閉店した百貨店
- 空き店舗が多いエリア

八戸ポータルミュージアム はっち① ～施設概要～

2011年2月11日オープン

新たな交流と創造の拠点 「はっち」



施設概要

所在地 : 八戸三日町11-1
敷地面積 : 3,387平方メートル
建築面積 : 1,6641平方メートル
延床面積 : 6,463平方メートル
主体構造 : 鉄筋コンクリート造
(免震構造)
階 数 : 地上5階
最高高さ : 24メートル

開館時間 : 9:00～21:00

休館日 : 火曜日

(祝日の場合その翌日)

12月31日及び1月1日

八戸ポータルミュージアム はっち② ～使い方は市民の皆さん次第！～

789
123



はっちひろば



クリスマスイベント



はっちひろば



シアター 2



正月イベント



八戸ポータルミュージアム はっち③ ～観光展示・ものづくりスタジオ～

八戸に来たらまず【はっち】へ！

館内には、八戸の芸能や食、市民作家の手による伝統工芸の展示や、自然、産業、文化財などを展示。ものづくりスタジオでは、伝統工芸の南部裂織の体験ができる。



はっちひろばのからくり時計
からくり木工作家高橋みのると
誘致企業多摩川精機との共同作品



4階ものづくりスタジオのひとつ
八戸南部裂織工房 「澄（ちょう）」



エントラスを彩る
郷土玩具 八幡馬
大久保直次郎作



2階 八戸えんぶり
和紙人形作家 高橋寛子作

八戸ポータルミュージアム はっち④ ～子育て支援の拠点「こどもはっち」～

子育て支援の拠点「こどもはっち」

4階に設置した乳幼児～未就学児を対象とした施設。子育て相談、プレパパ・プレママ交流会、絵本の読み聞かせ会、おさがり市、障害児の親子交流会など、多彩なイベントも開催。



多様なつながりをつくる取り組み ～アートプロジェクト①～

「酔っ払いに愛を」～横丁オンリーユーシアター～

毎年10月は「八戸横丁強化月間」として、中心街に8つある横丁と夜の繁華街を盛り上げるイベントを連携して実施している。



多様なつながりをつくる取り組み ～アートプロジェクト②～

酔っ払いに愛を～横丁オンリーユースイーター



親子も参加。どこまでがパフォーマーで、どこからが観客か？
もう分かりません！



パフォーマーとの
距離が近いのも魅力



みろく横丁で

多様なつながりをつくる取り組み ～アートプロジェクト③～

市民集団 まちぐ（る）み



街に【面白い】や【ワクワク】を増やすプラットフォーム。緩やかな連帯・協働を可能とする従来にない枠組みで、世代や地域に関わりなく人々を惹きつけている。



伝統工芸「南部菱刺」ワークショップ



組長 アーティスト
山本耕一郎さん

中心街での「八戸ホコテン」に出店のひしざしカフェ
まちぐみを介して高校生など若者も活動に多く参加



中心街の空き家を改修した
活動拠点「まちぐみラボ」



全国に広がる関係人口
「組員」は500名を超える

八戸ブックセンター① ～本好きを増やす！市営書店「八戸ブックセンター」～



八戸ブックセンター

施設概要

開設：2016年12月

面積：約315㎡

在庫数：約10,000冊

ハンモックでゆっくり立ち読み？



他に例のない市営の書店「八戸ブックセンター」

八戸ブックセンターでは、提案型・編集型の陳列による本の閲覧スペースの提供と販売、本に関するイベントの開催などを中心に、市内の民間書店や図書館、市民活動と連携しながら、全国で類を見ない、これからの時代にふさわしい本に関する公共サービスを構想し、提供している。

施設運営の3つの基本方針

- ①本を**読む人**を増やす
- ②本を**書く人**を増やす
- ③本で**まち**を盛り上げる



八戸ブックセンター② ～本を読む人を増やす～

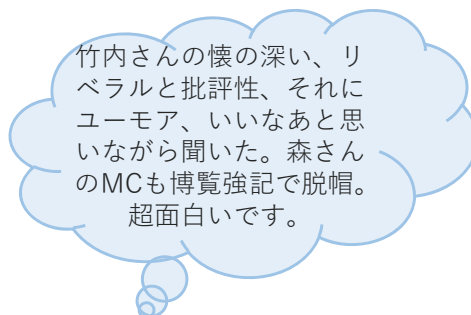
方針①「本を読む人を増やす」



本のまち読書会

とても素晴らしい内容の講座。沢山言葉を書き留めた。これから絵本を読む姿勢も変わりそうです。

絵本に関するトークイベントでの参加者の感想



八戸ペンクラブとの共催トーク
「ペンと私 竹内修司さん大いに語る」
弘前からの参加者の感想



講師を招いてのアカデミックトーク



ゲストを招いてのトークイベント
美術館との連携事業（美術館にて）



ゲストによる選書棚「ひと棚」

八戸ブックセンター③ ～本を書く人を増やす～

方針②「本を書く人を増やす」



執筆出版ワークショップ
高校生対象に実施した
「超ショートショート講座」

作品を冊子にして配付



HACHINOHE ZINECLUB キックオフミーティング

本づくり、執筆・制作、デザインに興味ある方で今年3月に立ち上げたクラブをブックセンターでもサポート。

八戸ブックセンター④ ～本でまちを盛り上げる～

方針③「本でまちを盛り上げる」



市内飲食店や
公共施設に本棚
を設置する
ブックサテライト



ギャラリー展
「紙から本ができ
るまで／土から土
器ができるまで
展」
▷是川縄文館
との連携事業



八戸出身の写真家チェリー・チル・ウィルさんの写真集発刊記念ギャラリー展のアーティストトークにライムスターがゲスト出演。
この夜、派生イベントとして市内のクラブで行われたライブは市内外からの多くの若者等で賑わった。



パワープッシュ作家「呉勝浩スペシャルトーク」

ば)

(はっちひろ

八戸ブックセンター⑤ ～民間書店や市図書館・学校図書館とも連携！～

「本のまち八戸」の拠点機能



民間書店との連携



公立・学校図書館、教育機関との連携・サポート



公共・民間施設との連携



小学校でのブックトーク
お薦め図書の選書はブックセンターが担当



大学生による
ブックハンティング

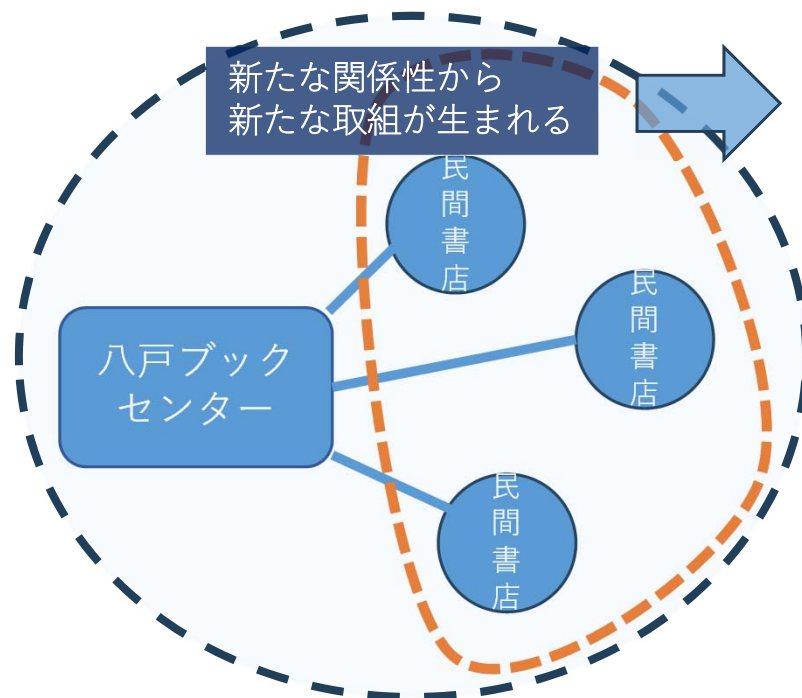


大勢の人で賑わう
「本のまち八戸ブックフェ
ス」

多様なつながりをつくる取り組み ～本好きを増やす！「八戸ブックセンター」～

民間書店間のネットワーク事業

- ・ 書店員同士の勉強会
- ・ 本のまち八戸ブックフェスの実施
- ・ パワープッシュ作家の書籍の共同販促
- ・ ブックセンターの書籍等販売業務委託 等



民間書店同士が、ブックセンターをハブとして、そのコーディネートにより連携した取り組みを実現



八戸ブックフェスの開催



市内民間書店員を集めた勉強会



当事業をきっかけに
「ポップ担当日記」を出版

八戸まちなか広場「マチニワ」① ～屋根のあるオープンスペース～

2018年7月21日オープン



オープン時間：6:00～23:00

貸出時間：9:00～21:00

休館日：なし（ニワなので）

屋根のある庭「マチニワ」

「マチニワ」は、中心市街地でほっと一息つける空間として設置された、冷房も暖房もない「屋根のある庭」。

イベントスペースには大型スクリーンがあり、中心市街地での各種イベントでも活用されている。

また、朝6時から使えるため、早朝に市民によるラジオ体操会が開かれている。

施設概要

所在地：八戸三日町21-1（はっち向い）

延床面積：1,249平方メートル（1階+2階）

間口25.7m×奥行30.7m×高さ14.8m

主体構造：鉄骨造（地下 鉄筋コンクリート造）

耐震構造

階数：地上2階（2階はデッキ）地下1階

主な設備：シンボルオブジェ「水の樹」

大型ビジョン

（203インチ、縦2.5m×横4.5m）

エレベーター、水飲み場、トイレ、Wi-Fi

八戸まちなか広場「マチニワ」② ～イベントにも活用～



クラフト市の様子



音楽イベントのようす



全国一斉地酒で乾杯

八戸市美術館① ～出会いと学びのアートファーム～

2022年11月3日オープン



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

規 模 建築面積:約3,095㎡、延床面積:約4,881㎡、高さ:約19m

構 造 鉄骨造、地上3階建て

設計者 西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体

受賞歴

- ・グッドデザイン
ベスト100
- ・東北建築賞 作品賞
- ・JIA 日本建築大賞

【コンセプト】

種を蒔き、人を育み、
100年後の八戸を創造する美術館
～出会いと学びのアートファーム～

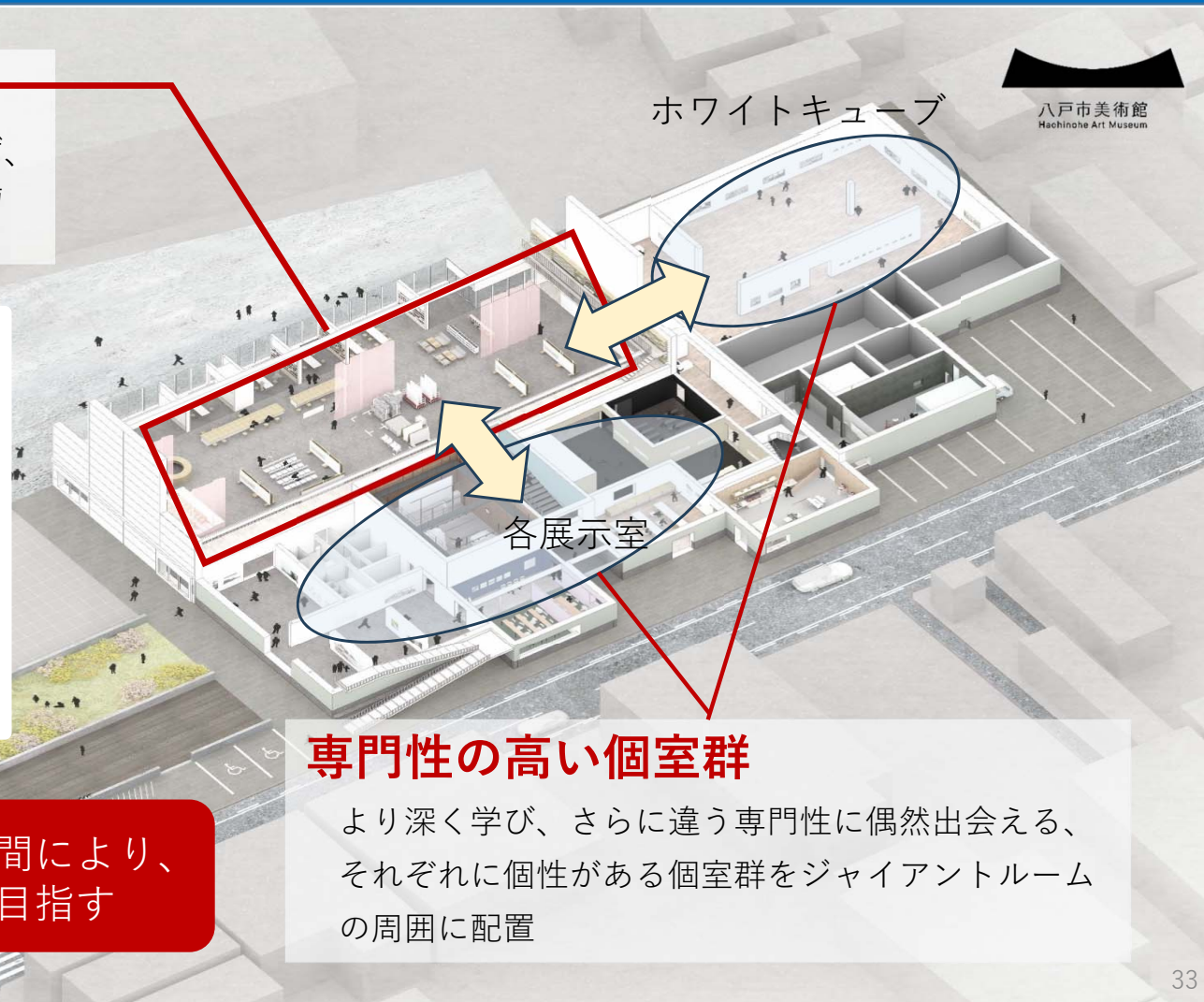
写真 阿野太一



八戸市美術館② ～多彩な活動を生み出す「ジャイアントルーム」～

ジャイアントルーム

エントランスとしての役割のみならず、人々が自由に集い、学び、活動する場としての役割も担う巨大な空間



2つの特徴的な空間により、「学びの循環」を目指す

専門性の高い個室群

より深く学び、さらに違う専門性に偶然出会える、それぞれに個性がある個室群をジャイアントルームの周囲に配置

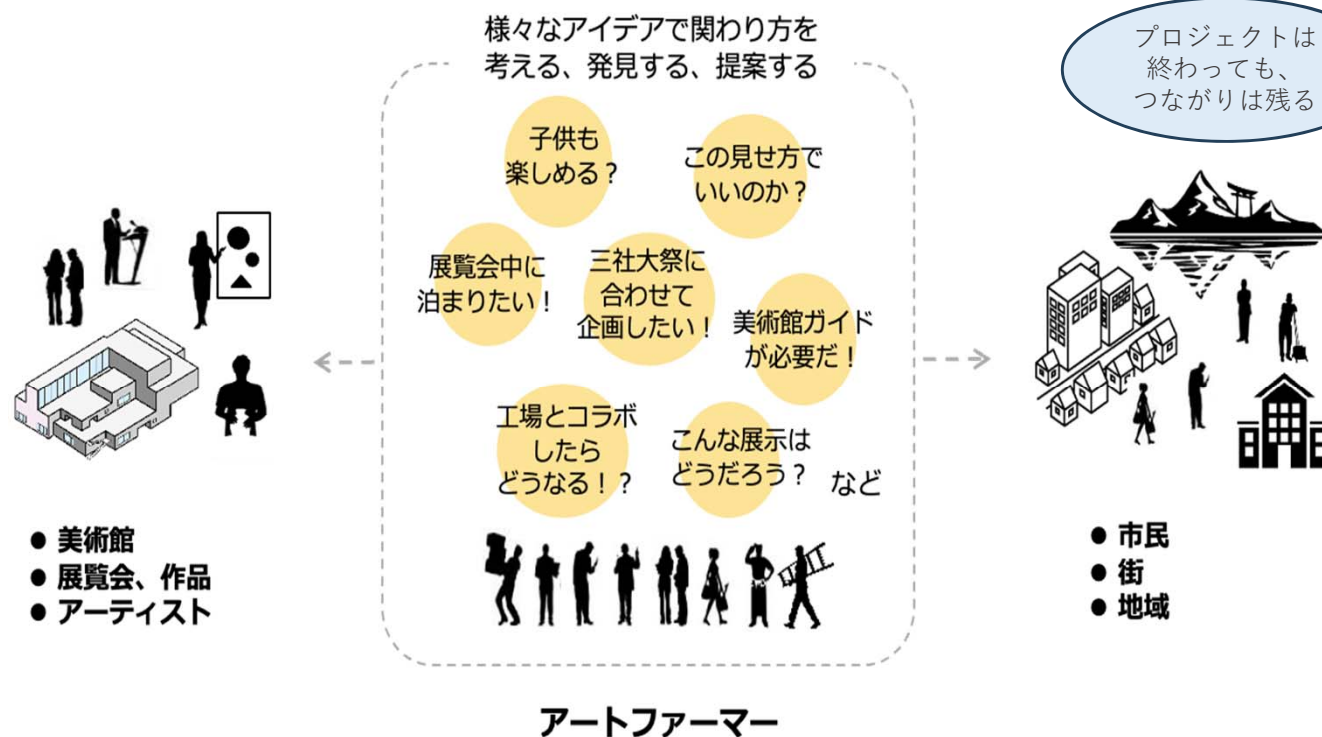
八戸市美術館③ ～市民が美術館を動かす！「アートファーマー」～



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

アートファーマープロジェクト

美術館活動に主体的に関わる市民を、アートでコミュニティを耕して育む「**アートファーマー**」と呼び、アートを通して地域社会のことを考えたり、アーティストとの創作活動に取り組む、様々な経験ができる場として「**アートファーマープロジェクト**」を展開しています。



YSアリーナ八戸① ～国内3つめの屋内オーバルリンク～

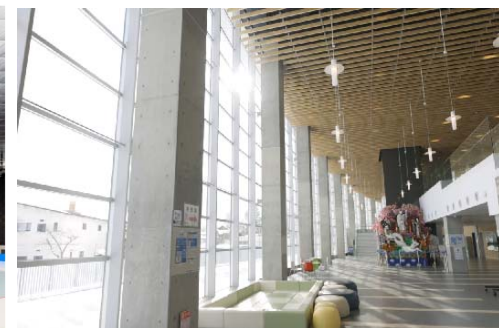
2019年9月29日オープン

施設概要

- 敷地面積：約62,300m²
- 建築面積：約22,300m²
- 延床面積：約26,300m²（地上3階、地下1階）
- 高さ：25.4m（天井高15m）
- 収容人数：約9,000人
 - ・ 1階アリーナ 約6,000人
 - ・ 2階固定観客席 3,045人

特徴

1. 国内3つ目の屋内スピードスケートリンク
2. 音楽イベント、コンベンション等に利用できる多目的施設
3. 地域防災拠点施設



YSアリーナ八戸② ～国際大会開催も可能な設備を備える～

国際規格に準拠した400mオーバルリンク



世界水準の

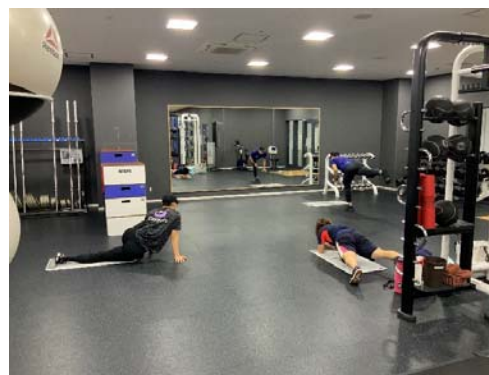
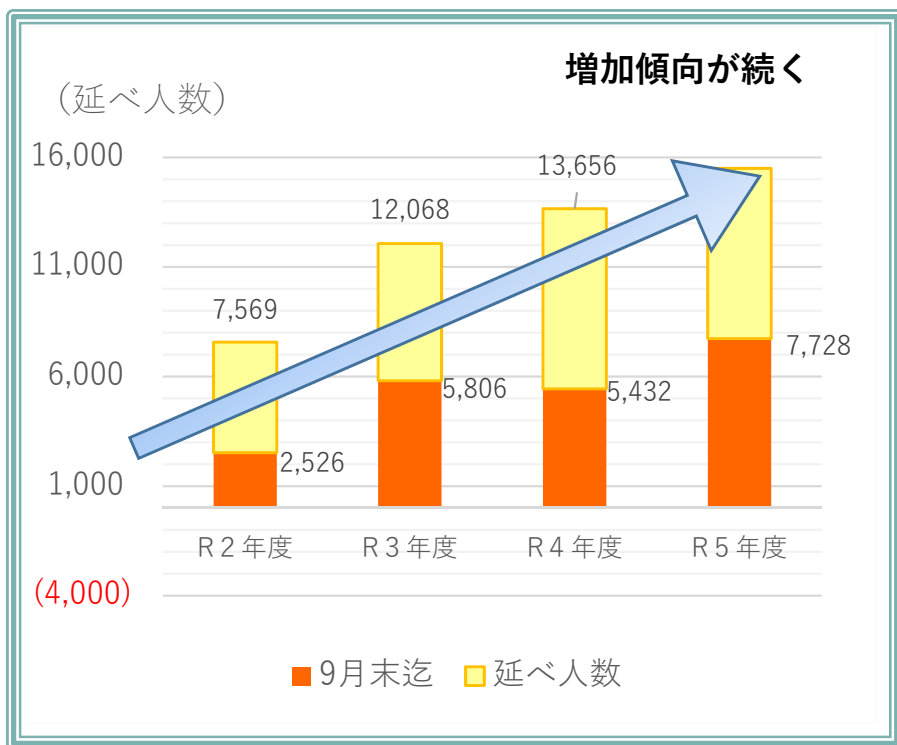
- ・ 氷質 (CO2冷媒・純水使用)
- ・ 空調環境 (アルミ膜天井)
- ・ 照明環境 (LED照明)



YSアリーナ八戸③ ～大学・実業団の合宿利用も増えている～

首都圏等の大学スケート部の合宿利用も
順調に増えている。

合宿者の推移



令和5年9月 合宿風景

国内外から多くの選手が集まるスケート新時代 ～スポーツツーリズムの可能性～

YSアリーナ八戸



フラット八戸



2022年12月 全日本選手権大会 JSF公式ホームページ



アジアリーグアイスホッケー東北フリーブレイズ ホームゲーム



画像提供: FLAT HACHINOHE

本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

文化の力、スポーツの力 ～文化芸術、スポーツの持つ価値を整理してみる～

文化芸術振興基本法（2001年）
⇒文化芸術基本法（2017年公布）
スポーツ振興法（1961年）
⇒スポーツ基本法（2011年公布）

地方公共団体の責務

基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

地方推進計画

地方文化芸術推進計画、地方スポーツ推進計画を定めるよう努める。

◎文化芸術

豊かな人間性の涵養
創造力と感性を育む 等

◎スポーツ

心身の健全な発達
健康及び体力の保持増進 等

本質的価値

文化・スポーツの価値の整理／3つの価値

経済的価値

社会的価値

◎文化芸術

新たな需要や付加価値を生み出し、質の高い経済活動を実現 等

◎スポーツ

地域間交流や、社会の活力が経済の発展に寄与 等

◎文化芸術

人間の相互理解を促進し、個々人が共に生きる地域社会の基盤を形成 等

◎スポーツ

人と人との交流、人間関係の希薄化を抱える地域の再生 等

※参考／文化：文化芸術推進基本計画第1期 スポーツ：スポーツ基本法理念

八戸市中心市街地まちづくりビジョン2023 ～目指す4つの方向性～

1.人が主役のまちづくり

～人々の暮らし、活動や交流が中心にあるまちなかへ～

まちなかを住みやすく、歩行、滞在、活動、交流、子育てや学びを通して、楽しさ、寛容、幸福を感じることのできる、**人中心の暮らしを実現する場**に転換、再編していきましょう。

また、人が主役のまちづくりの取組から**社会関係資本を涵養し、創造的で成熟した市民社会を実現**していきましょう。

2.地域の資源を活かそう

～歴史や強み、個性を活かした八戸ならではのユニークを～

3.活力ある経済と社会

～産業が息づき、社会的役割を担い発展し続けるエリアに～

4.参加と横断的なマネジメント

～多様な主体が知恵を出し合い役割を担う、参加と連携をベースに～

八戸市中心街ストリートデザイン事業

中心市街地のメインストリートである国道340号三日町・十三日町区間について、街路を車中心からひと中心の空間へ転換する「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を図る。
歩車道の一体的整備、さらに様々な活動が展開されるストリートへの転換を目指す。



パース図（イメージ）

⇒ 実証試験「みちニワ」を実施

ストリートデザイン実証試験「みちニワ」 ～歩車道を再編する社会実験を実施！～



みちニワ
八戸市まちなかストリートデザイン実証試験

2023. 8.31 THU - 9.11 MON

多様な活動が 街にあふれる
新たな日常をつくりませんか

交通規制：8.29（水）8時～9.12（水）17:00まで車線が減少します
お問い合わせ：八戸市 土木部まちづくり課 まちづくり推進課 TEL 019-43-9431



車道を滞在空間として活用



建物の軒先が観客席に

みちニワ
八戸市まちなかストリートデザイン実証試験

八戸市が実施する「ひと中心」のまちづくりの実証試験「みちニワ」。期間中は歩道が広がり、ひとが滞在する空間が拡張！商店やキッチンカーが出店するほか、多様な活動に挑戦します。いつもとは違う中心街のメインストリートをぜひ体験してください。



<p>音楽コンサート</p> <p>▶ 8.31 12:00～ 十三日町バス停前</p> <p>ご当地風情にふさわしいコンサートです！無料観覧やポップスなども聴きながら、お食事もお楽しみください。</p>	<p>まちなかライブ</p> <p>▶ 9.8・9.9 17:00～ はっち町</p> <p>ふたばあ 附、はっち 1 階）では、常設中スーパーアラスを開設！ライブを見ながらゆったり過ごせます。</p>	<p>お出かけこどもはっち</p> <p>はっち、ふたばあ 附、はっち 1 階）で、常設中スーパーアラスを開設！ライブを見ながらゆったり過ごせます。</p>
<p>アタセサリーづくり</p> <p>▶ 9.3・9.10 11:00～15:00 はっち町</p> <p>アタセサリー 会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>ドレッシングづくり</p> <p>▶ 9.9 15:00～17:00 十三日町バス停前</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>FREE WI-FI</p> <p>はっち町、ふたばあ 附、はっち 1 階）で、常設中スーパーアラスを開設！ライブを見ながらゆったり過ごせます。</p>

FOOD & DRINK ▶ 10:00 ～ 中心街のおいしいお店やキッチンカーが賑わいます！このほか、たい焼き屋や焼きそば屋も出店します！

<p>ポテト</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>とんかつ</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>カレー</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>カレー</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>	<p>カレー</p> <p>会場：500円～ 所要時間：約 30 分 市民館「見なも」でハンドメイド作品の展示販売！</p>
---	--	---	---	---

【デザイン協力】 地景院（八戸工業大学デザイン学部 4 年）

はちのへAI(アイ)バス・中心街活性化プロジェクト ～まちなかWi-Fi、LINEアプリ～

三日町・十三日町・六日町・十六日町の屋外全
エリアにおいて、令和5年7月22日よりフ
リーWi-Fiの運用をスタート！



取り組み内容

- ・Wi-Fi環境の整備
- ・LINEアプリ開発による
まちなか情報の発信と電

子クーポンの発行
・AIカメラを活用した人
流
分析による公共交通の
適
正化と、
け

たオープンデータ

- ・来街動機の創出
- ・滞在性と回遊性
の向上
- ・活動の誘発など
の効果进行期待



LINEクーポン利用店

Cafe X Cafe / THIRD PLACE (サードプレイス) / おこカフェ 帯八 / あなま古書店 / カネリミュージアムショップ / カネリミュージアム / Coworking cafe estacion / SHADOW BAR / ラインアール / ウンタス / 八戸酒造蔵元直売所 / 南郷食彩生(は)タ RIT. / 味のあん家 / 喫茶ピーマン / 四川東郷料理 福 八戸 / 洋酒喫茶 プリンス / 無国籍居酒屋 BON / 焼肉居酒屋 とんとん / レストラン 樹林 / モリヨ南風堂 / 新そば / 八戸ランドホテル / 小泉の牧場 八戸店 / 手打ちそば 丁庵 / おはな / らーめんあさひ / 朝日堂 / なごみ庵 / ねたなや菓子 / Lounge minato / ボートハウス ベース / Patrie / CHÉLSE DAY / 藤崎 知はつと庵八戸町店 / ニルバグモリ / Garden and Art Lounge 151 / レストラン ジョー / 鶏8 / 八戸市美術館 (グッズ販売あり) / 参加店舗々追加中！

令和5年度 八戸市デジタル推進計画 はちのへAI中心街・バス活性化プロジェクト(受託運営 株式会社金入)

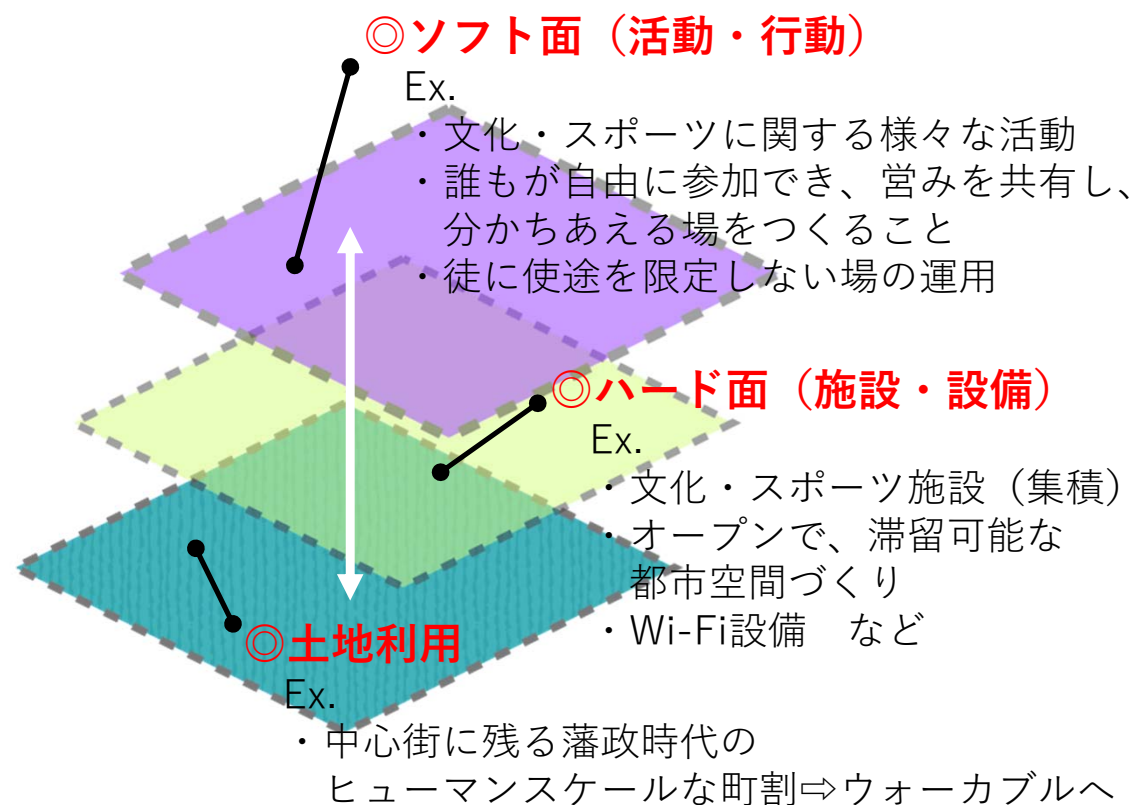
開かれたパブリックな場をつくること① ～文化的コモンズの形成に向けて～

スポーツを含めた意味での
＜文化＞について、誰もが参加
できるなど機会を享受し、その
経験を他者と分かち合える
＜文化的コモンズ＞の形成

多様な価値の集積による
出会いや交流の創出

- ・つながり、コミュニティ、
豊かな社会関係資本の醸成
- ・より良い社会をつくる
イノベーション など

都市の使い方を**レイヤー（層）**として考えた上での
文化的コモンズ形成のための条件整理



※コモンズとは：入会（いりあい）。誰の所有にも属さない放牧地などの意

開かれたパブリックな場をつくること② ～公共施設を気軽に集える場所に～

中心市街地を、商業の拠点のみならず、
社会的、文化的活動の拠点に位置付け
文化・交流・スポーツ施設を整備



- ✓ 誰でも気軽に立ち寄れる居場所
- ✓ 人が集いコミュニケーションが生まれる場



「マチニワ」冬の夜の一コマ



YSアリーナ八戸
開放的ホワイエ
「夏休み子ども
ワークショップ」
の様子



はっちのフリースペースで勉強する高校生たち



ある日の美術館前ひろば

公共空間の整備が民間投資(再開発・企業進出)も呼び込む

民間投資



Garden Terrace
(ガーデンテラス)



【マチニワ】

界隈性

民間投資



コワーキングカフェ
エスタシオン



【八戸市美術館】

民間投資



【八戸ブックセンター】

界隈性

DEVELD八日町



【八戸ポータルミュージアム(はっち)】

民間投資



サテライトキャンパス ばんらぼ

本日は話したいこと。。。

- 1 八戸市の紹介
- 2 八戸市の中心市街地について
- 3 多様なつながりをつくる取り組み
- 4 開かれたパブリックな場をつくること
- 5 まとめ

まとめ ～まちづくりに終わりなし～

- ★地方都市にあって、デパートなどの大型商業施設に多くの人が集まっていたかつての中心市街地はすでに過去のもの。
- ★中心市街地はなくさない。歴史的、文化的な蓄積を失うことにつながる。
- ★中心市街地に、歴史的背景や文化（スポーツ含む）的な側面で、誰でも使え、集える「パブリックな場所」を構築していこう。
- ★多様な機能を集積することで、コンパクトかつウォークアブルなまちへ。
- ★民間事業者とも幅広く連携し、まちを盛り上げよう。

「まちづくりに終わりなし」

ご清聴ありがとうございました。

